

- *イスラエルの国は、ある時、ミディアンという外国の人たちに攻められて、みんなで一生懸命に作った食べ物もみんな取られてしまいました。大変困って、神様に助けを求めました。そうすると神様の使いからギデオンという人に声がかかりました。「勇士よ。主があなたといっしょにおられる。」でも、ギデオンは信じられませんでした。「エジプトからイスラエル人を救い出した主が、もしも今ここにおられるなら、こんなひどいことにはならないはずです。」「すると、主は彼に向かって仰せられた。『あなたのその力で行き、イスラエルをミディアン人の手から救え。わたしがあなたを遣わすのではないか。』（士師記6：14）ギデオンは答えました。「こんな臆病な私にどうしてそんなことができるのでしょうか。私の仲間は少なく、私は弱いし、家族の中で一番年下で、若いのですから。」本当に心細かったギデオンでしたが、聞いた神様のことばが本物だったことがはっきりとわかったので、神様に従うことを心に決めました。そしてまず、その時に拝んでいた偽物の神様の祭壇を取り壊して、本物の神様だけの祭壇をつくって拝みました。それから、イスラエルのために戦おうと立ち上がったのです。
- *ギデオンによって集められたイスラエルの兵士は3万2千人でした。それに対して、ミディアン人は13万5千人もの大軍でした。それなのに、神様はイスラエルの兵士は多すぎるといわれました。それは、多くの民で勝つと、神様に向かって自分たちの力を誇るようになるからです。神様は、まず敵の大軍に恐れる者は帰らせて、1万人にしました。そのあと、泉での水の飲み方を見て、犬のように舌で水をなめる者、ひざをついて飲む者は自分の家に帰らせました。手で水をすくい、口に手をあてて水をなめた注意深い者だけをより分けられました。2回のテストで最後はたったの300人になってしまいました。
- *300人の勇士は夜、全員が手に角笛と、中にたいまつが入った空のツボを持って、3つの隊に分かれて敵の陣営に行きました。300人が一斉に角笛を吹き鳴らし、ツボを割って、たいまつを手にかざして、「主のためだ、ギデオンのためだ」と大声で叫びました。敵の兵士は大きな音と光とで、おろおろして逃げ出し、味方同士で切り合うことになりました。こうして、イスラエル人はミディアンの大軍を打ち破ったのです。この勝利は、神様が計画された勝利でした。神様が勇気と知恵を与えてくださり、ギデオンをはじめ神様に信頼を置く兵士が用いられて神様のために戦ったので勝つことができたのです。